

成績等申告書

受験番号 (※)	氏名 (自署)
記入しないこと	全ての申告書に自著

第1表 法曹としての適性

募集要項17頁(2. 第1表「法曹としての適性」)及び神戸大学法科大学院ウェブサイト掲載のFAQを熟読のうえ、本欄に1000字程度、上限1200字で記入してください。

(40字×30行以内(標準25行)、ウェブサイトからダウンロードした様式の使用を推奨します。)

40字×30行以内(標準25行)

成績等申告書

募集要項17-18頁(3. 第2表「大学における成績の概要」)及びFAQを熟読のうえ、記入してください。

氏名(自署)

第2表 大学における成績の概要

成績が区分されている科目	成績	(イ) その成績を得た科目の単位数合計		(ハ) 割合(イ/ロ)
	優	84	単 位	0.62
	良	36	単 位	0.26
	可	15	単 位	0.11
	(ロ) 単位数合計	135	単 位	

- * 成績証明書に基づいて記入してください。
- * 第2表には、成績が段階(点数)評価されている科目のみ記入してください。(「合格」「認定」等は含めない。)
- * 成績が、「優」「良」「可」の3段階(「A」「B」「C」)で評価されている科目は、以下の方法で記入してください。
 - ・「秀」「優」「良」「可」で評価される場合:「秀」と「優」の単位数を合計し「優」欄に記入。
 - ・「優」「良上」「良」「可」で評価される場合:「良上」と「良」の単位数を合計し「良」欄に記入。
 - ・成績が点数で示されている場合:満点の80%以上を「優」、70%以上80%未満を「良」、60%以上70%未満を「可」として記入。
(単位修得が認められる最低点が50%の場合、50%以上70%未満を「可」として記入)
- * (ハ)欄は、小数点以下第3位を切り捨てたうえで、小数点以下第2位まで記入してください。

0.266なので、小数点以下第3位を切り捨て0.26まで記入

出身学部の成績制度を示す書類

成績証明書

書類名を記入。

成績等申告書

受験番号 (※)	氏名 (自署)
----------	---------

第3表 外国語の能力

チェック欄	資格試験名等	点数・資格	成績等を示すものとして添付した書類名
	TOEFL iBT		Test Taker Score Report (コピー)
✓	TOEIC	725	Official Score Certificate (正本)

* 第3表には、2022（令和4）年1月以降に受験したことが示されている成績証明書等を添付してください。ただし、コピーしか提出できない場合には、その旨を記載してください。

**チェック欄にチェックのうえ、点数・資格に記入。
受験日を確認すること。**

正本を提出しなければならない場合に、コピーを提出している場合には、第3表は無効となります。

* TOEFL, TOEIC 以外の資格試験を用いる場合、空白行に記入してください。

成績等申告書

受験番号 (※)	氏名 (自署)
----------	---------

第4表 社会人・他学部卒業者としての経歴の概要【未修特別】

募集要項19頁（5. 第4表「社会人・他学部卒業者としての経歴の概要」）及びFAQを熟読のうえ、本欄に1000字程度で記入してください。

（40字×25行程度、ウェブサイトからダウンロードした様式の使用を推奨します。）

40字×25行程度

成績等申告書

受験番号 (※)	氏名 (自署)
----------	---------

第5表 3年次生出願資格

(1) 出願資格 (修得単位) の確認

	成 績	(イ) その成績を得た科目の単位数合計	(ハ) 割合 (イ/ロ)
卒業に必要な全ての科目	優	70 単 位	0.76
	良・可	20 単 位	0.21
	成績区分のない科目	2 単 位	0.02
	(ロ) 単位数合計	92 単 位	
出身学部の成績制度を示す書類		〇〇大学法学部規則 (学生便覧コピー) 書類名を記入。	

募集要項19頁 (6. 第5表「3年次生出願資格」) 及びFAQを熟読のうえ、記入してください。

	成 績	(ニ) その成績を得た科目の単位数合計	(ヘ) 割合 (ニ/ホ)
律 基 本 科 目	優	58 単 位	0.80
	良・可	14 単 位	0.19
	(ホ) 単位数合計	72 単 位	

(裏面の注意事項を参照のうえ記入してください)

(1) 表(2)表に共通の記入上の注意

- * 出願資格 [12] の出願資格 (3年次生出願資格) により出願する者のみ提出してください。
- * 令和6年度に発行された成績証明書と、令和6年度前期の成績が記載された成績確認表等に基づいて記入してください。必ず令和6年度前期までの成績について申告書を作成してください。
- * 成績が、「優」「良」「可」の3段階 (「A」「B」「C」の3段階を含む。) 以外で評価される場合の算定方法
 - ・「秀」「優」「良」「可」で評価される場合: 「秀」と「優」の単位数を合計し「優」欄に記入。「良」と「可」の単位数を合計し「良・可」欄に記入。
 - ・「優」「良上」「良」「可」で評価される場合: 「良上」、「良」及び「可」の単位数を合計し「良・可」欄に記入。
 - ・成績が点数で示される場合: 満点の80%以上を「優」、80%未満を「良・可」欄に記入。
- * (ハ) 欄及び (ヘ) 欄は、小数点以下第3位を切り捨てたうえで、小数点以下第2位まで記入してください。

(1) 表記入上の注意

- * 記入した単位が卒業に必要な単位であることを示す書類 (学生便覧等) のコピーを、本申告書にホチキスで綴じ合わせ、その書類の名称を記入してください。
- * 単位数に含めない授業科目
 - ・修得した単位が卒業に必要な単位ではない科目
 - ・単位を修得していない科目

(2) 表記入上の注意

- * ここにいう法律基本科目 (憲法、行政法、民法、商法、民事訴訟法、刑法、刑事訴訟法) とは、以下の科目を指します。

憲	法: 憲法の全分野。具体的には、憲法総論、人権、統治機構を取り扱う科目。
行	政 法: 行政法の全分野。具体的には、行政法総論、行政救済法、行政組織法、地方自治法等を対象とする科目。
民	法: 民法の全分野。具体的には、民法総則、物権法 (担保物権法を含む)、債権総論、債権各論 (契約法・不当利得法・不法行為法を含む)、親族法、相続法を取り扱う科目。
商	法: 会社法、有価証券法、商法総則、商行為法を含み、保険法・海商法・金融商品取引法は含まない。なお、授業担当教員の判断により、会社法において金融商品取引法の一部を含めている場合、有価証券法において振込等を扱っている場合、商行為法において保険法や海商法が半分程度までの時間数で含まれている場合であっても、中心部分が上記商法に含まれる範囲であれば、全て商法の単位と扱ってよい。
民	事訴訟法: 判決手続。民事執行法、民事保全法、倒産法、司法制度論、裁判法は含まない。
刑	法: 刑法総論および刑法各論を取り扱う科目。
刑	事訴訟法: 刑事訴訟法学の基本的事項を取り扱う科目。

- * 単位数に含めない授業科目
 - ・「法学入門」「生活と法」等、法学・法律問題一般に関する科目
 - ・成績が「合格」「不合格」の判定のみとされる科目
 - ・単位を修得していない科目
- * 未修一般のみに出願する者は、(2)表 ((ニ) (ホ) (ヘ) 欄) は記入する必要はありません。

成 績 等 申 告 書

募集要項20頁（7. 第6表「法曹コース要件科目における成績の概要」）及びFAQを熟読のうえ、記入してください。

氏名（自署）

第6表 法曹コース要件科目における成績の概要【開放型】

	成 績	(イ) その成績を得た科目の単位数合計	(ハ) 割合 (イ/ロ)
法曹コース要件科目	秀・優 (80点～100点)	48	0.85
	良・可 (60点～79点)	8	0.14
	(ロ) 単位数合計	56	

- * 法曹コースの必修科目，選択必修科目について記入してください。
- * **令和6年度に発行**された成績証明書に基づいて記入してください。
- * 成績が段階（点数）評価されている科目のみ記入してください。
（「合格」「認定」等は含めない。）
- * （ハ）欄は，小数点以下第3位を切り捨てたうえで，小数点以下第2位まで記入してください。

法曹コースの修了要件を示す書類	法曹コースに関する内規（学生便覧コピー）	書類名を記入。
-----------------	-----------------------------	----------------

- * 法曹コースの修了要件を示す書類（学生便覧等）のコピーを，本申告書にホチキスで綴じ合わせ，その書類の名称を記入してください。
本法科大学院の協定校の法曹コースを修了見込みの者は，「法曹コースの修了要件を示す書類」の添付は不要です。この欄には大学名・法曹コース名を記入してください。